

平成 23 年度 先導的_レ大学改革推進委託事業

医学・歯学教育の改善・充実に_レ関する調査研究

最終年度報告書

平成 24 年 3 月

東京大学

東京医科歯科大学

医学チーム 写真

《調査研究委員会》



第1回 (H23年7月 東京大学)



第2回 (H23年9月 東京大学)



第3回 (H23年12月 東京大学)



第4回 (H24年2月 東京大学)

《第7章：シンポジウム》



開催 (H23年12月 東京大学鉄門記念講堂)



開会ご挨拶：福田 康一郎先生
(社団法人医療系大学間共用試験実施評価機構)

医学チーム 写真



北村 聖先生（東京大学）



錦織 宏先生（京都大学）



アメリカの状況についてご報告される
田邊 政裕先生（千葉大学）



大滝 純司先生（北海道大学）



DVD 映像の要所で解説をされる大滝 純司先生



前野 哲博先生（筑波大学）

医学于一ム 写真



岡崎 仁昭先生（自治医科大学）



吉田 素文先生（九州大学）



吉岡 俊正先生（東京女子医科大学）



福島 統先生（東京慈恵会医科大学）



全体討論



閉会ご挨拶
村田 善則様（文部科学省高等教育局医学教育課）

医学チーム 写真

《第5章：DVD撮影》



(H23年10月 東京医科歯科大学)



再撮影 (H23年12月 東京医科歯科大学)

医学チーム 写真

《第6章：医学部の海外調査》

P.235 オランダ王国 Utrecht 大学 (錦織 宏委員)

Bijlage 1: Schematische weergave curriculum CRU2006

BACHELOR

Jaar 1

Startblok Bachelor 3 wk	Gezonde en zieke cellen I	Stofwisseling I	Zintuigen, hersenen en beweging I	Circulatie I	Infectie en afweer I	Regulatie en integratie	Circulatie II
Zorgstage 2 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk
Praktisch lijnonderwijs I, Klinisch Lijnonderwijs I, Studiereflectie en portfolio							

Jaar 2

Zintuigen, hersenen en beweging II	Gezonde en zieke cellen II	Circulatie III	Stofwisseling II	Zintuigen, hersenen en beweging III	Groei en ontwikkeling	Keuzecursus 1	Keuzecursus 2
5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk	5 wk
Praktisch lijnonderwijs II, Klinisch lijnonderwijs II, Studiereflectie en portfolio							

Jaar 3*

Acute geneeskunde	Coschap Interne gnk I	Acute chirurgie	Coschap Chirurgie I	Medical Humanities I	Medical Humanities II	Infectie en afweer II	Gezonde en zieke cellen III	Architectuur Klinisch Wet. Onderzoek
4 wk	6 wk	4 wk	6 wk	4 wk	4 wk	4 wk	4 wk	4 wk
Praktisch lijnonderwijs gekoppeld aan blokken, Theoretisch lijnonderwijs gekoppeld aan co-schappen, Studiereflectie en portfolio								

MASTER

Jaar 1*

Vrouwenziekten en verloskunde	Coschap Gynaecologie	Kinderen	Coschap Kinder-geneeskunde	Coschap Oog-heelkunde	Zintuigen, hersenen en beweging IV	Coschap Neurologie	Coschap Psychiatrie	Keuze-onderwijs
4 wk	6 wk	4 wk	4 wk	1 + 2 wk**	4 wk	6 wk	6 wk	4 wk
Praktisch lijnonderwijs gekoppeld aan blokken, Theoretisch lijnonderwijs gekoppeld aan co-schappen								

Jaar 2*

Geneeskunde en maatschappij	Coschap Sociale geneeskunde	Coschap Keel-, neus- en oorheelkunde	Coschap Huisarts-geneeskunde	Coschap Interne geneeskunde II	Coschap Chirurgie II	Coschap Dermatologie	Keuze-onderwijs
4 wk	4 wk	1 + 3 wk**	6 wk	6 wk	6 wk	2 + 2 wk**	6 wk
Praktisch lijnonderwijs gekoppeld aan blokken, Theoretisch lijnonderwijs gekoppeld aan co-schappen							

Jaar 3

Startblok schakeljaar	Wetenschappelijke stage	Keuzestage***	Algemene semi-arts stage	Afsluitperiode
6 wk	12/18/24 wk	0/6/12 wk	12/18/24 wk	6 wk
8 Terugkomdagen				

* In B3, M1 en M2 wordt er geroosterd volgens een carousel en volgen de verschillende groepen de studieonderdelen in een andere volgorde. M3 wordt altijd gestart met het Startblok Schakeljaar en afgesloten met de Afsluitperiode, maar de tussenliggende studieonderdelen worden ook volgens een carousel geroosterd.

** Voorbereidend theorieblok + coassistentchap

*** Keuze uit: Bijzondere semi-arts stage (klinisch, 12 weken) of keuzestage (6 weken onderwijsstage, 6 of 12 weken klinische of wetenschappelijke stage)

図2：ユトレヒト大学の卒前医学教育カリキュラム（黄色の部分が臨床実習）

医学チーム 写真



図 3 : Utrecht 大学 外来実習の様子

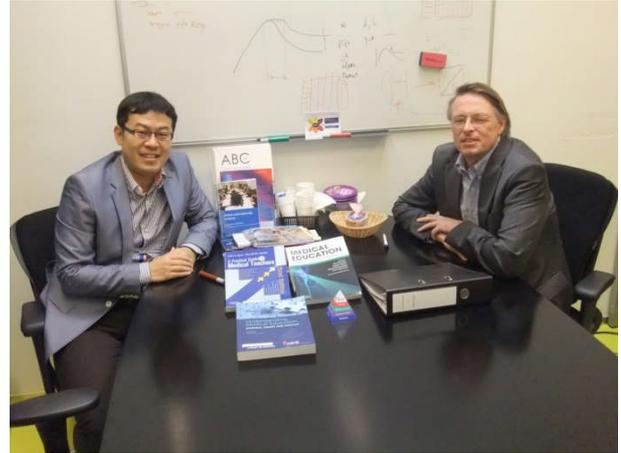


図 4 : Utrecht 大学 医学教育学講座
Olle ten Cate 教授 (右) と錦織宏委員



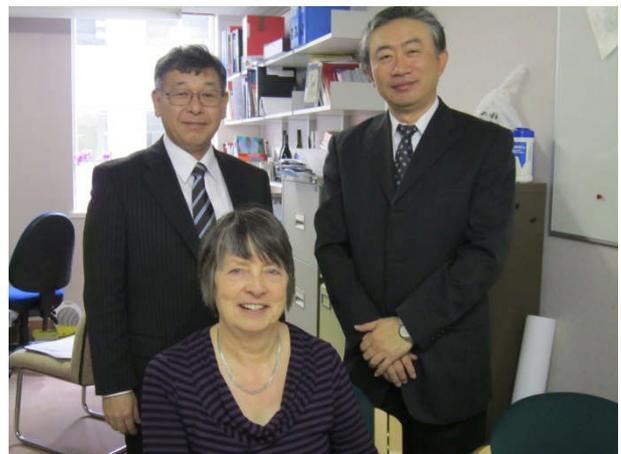
図 5 : Utrecht 大学 大学内の学習スペース



英国 King's 大学、General Medical Council (GMC)
(福島 統委員、北村 聖リーダー) King's 大学



King's 大学 医学部長 (中央)
北村 聖リーダー (左) と福島 統委員 (右)



臨床実習担当者 (中央)

医学チーム 写真



King's 大学臨床実習担当教員 (右)



King's 大学 Dept. of Primary Care and Public Health Sciences 武田 裕子先生 (左)



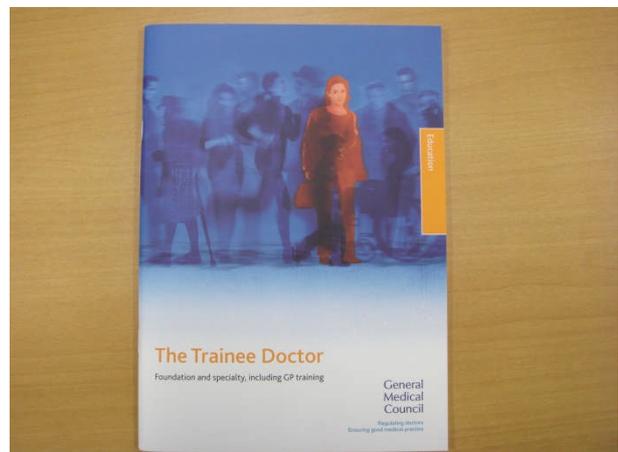
General Medical Council (GMC)



英国 General Medical Council (GMC) 資料
Welcome to the General Medical Council's
London Office

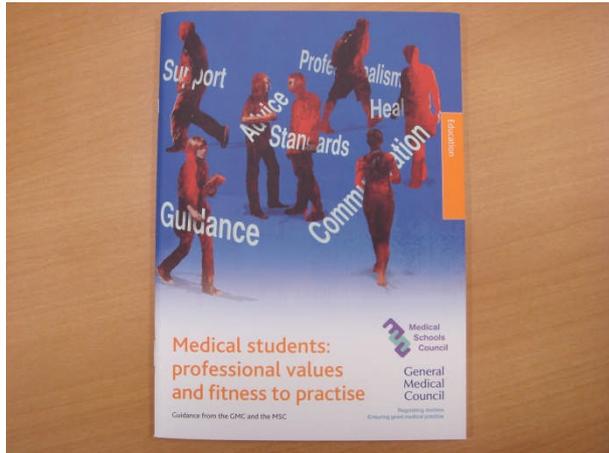


Welcome to medicine

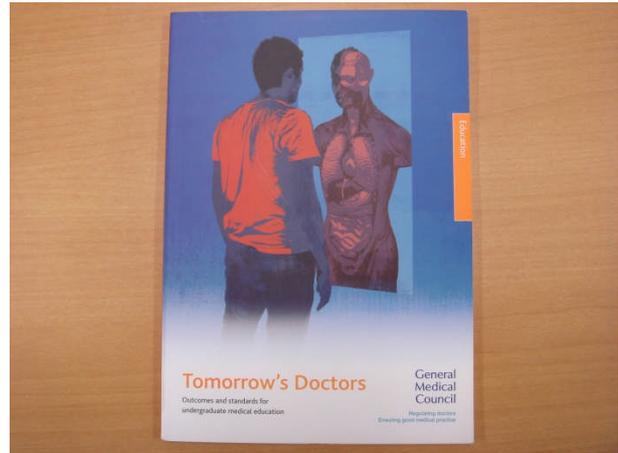


The Trainee Doctor

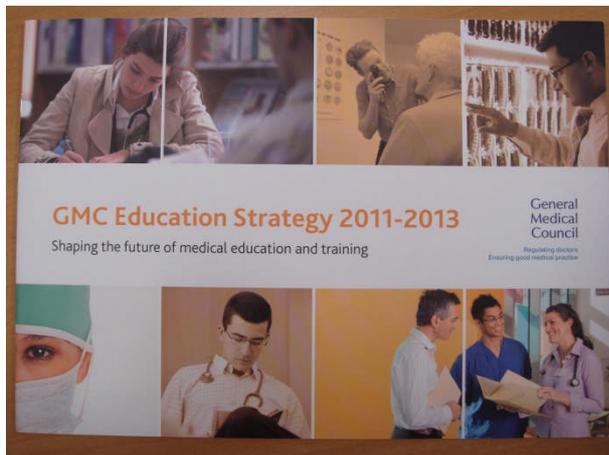
医学チーム 写真



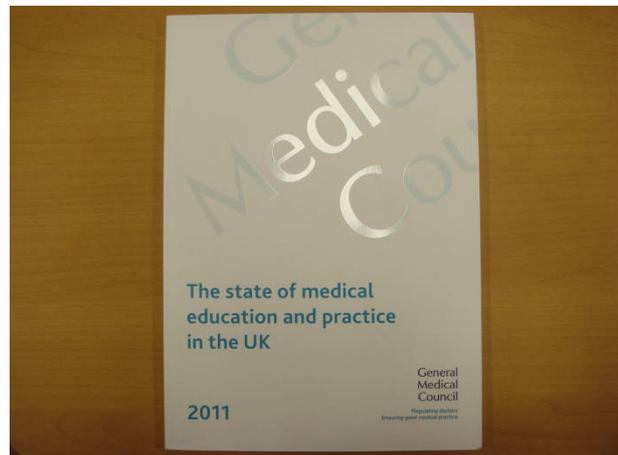
Medical students: Professional Values and fitness to practise



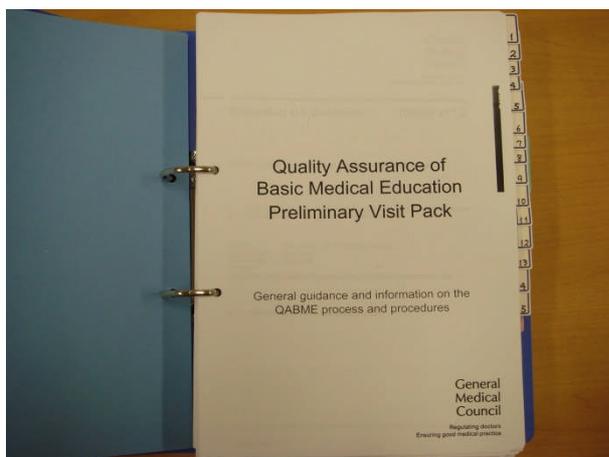
Tomorrow's Doctors



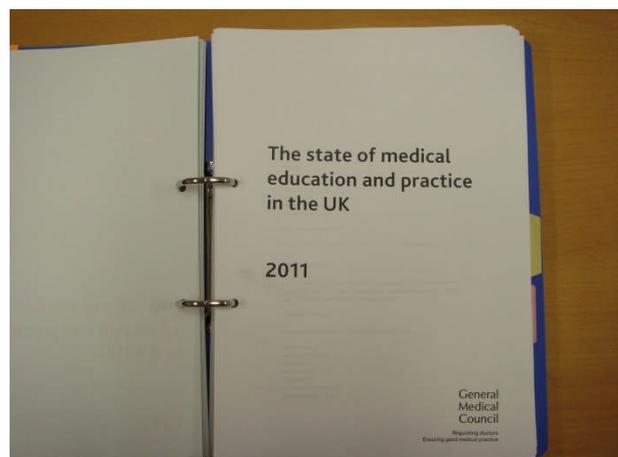
GMC Education Strategy 2011-2013



The state of medical education and practice in the UK 2011



Quality Assurance of Basic Medical Education



The state of medical education and practice Preliminary Visit Pack in the UK 2011

歯学チーム 写真

《第5章：診療参加型臨床実習カリキュラム 立案・実施のためのワークショップ》



村田善則 医学教育課長



福田康一郎 CATO 副理事長



江藤一洋 CATO 副理事長
開催 (H23年12月 東京医科歯科大学歯学部)



タスクフォース紹介

《第4章：歯学教育の海外調査》

P. 431 大韓民国 ソウル大学歯学部、Yonsei 大学歯学部、Kyung Hee 大学歯学部



Yonsei 大学歯学部にて
右から3番目が Kwon 歯学部長



Yonsei 大学歯学部基礎模型実習室

歯学チーム 写真



Yonsei 大学歯学部臨床実習の様子



ソウル大学歯学部にて
右から3番目が Soon-Chul 歯学部長



ソウル大学臨床教育スタッフと



ソウル大学歯学部臨床実習室



Kyung Hee 大学臨床実習室



Kyung Hee 大学歯学部執行部との会食
右中央が Park 歯学部長

歯学チーム 写真

オーストラリア連邦 メルボルン大学健康科学部歯学科 (MDS)



写真 1 : メルボルン大学健康科学部歯学科 (MDS)

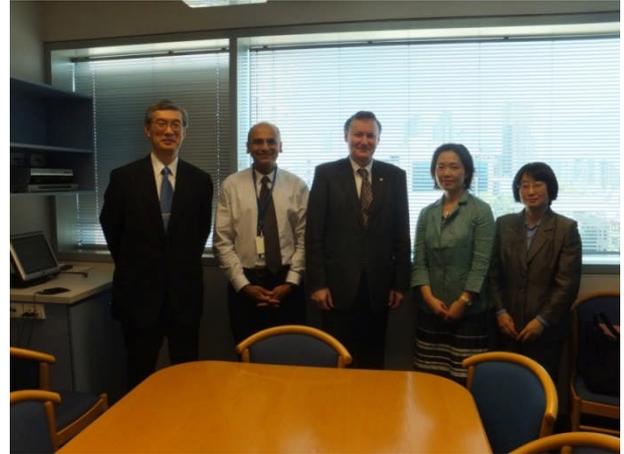


写真 2 : MDS にて歯学科長 Prof. Eric C Reynolds (中央) 臨床教育責任者 Dr. Roy B Judge (左から 2 人目) と



写真 3 : RDHM にて臨床教育実施責任者 Dr. Matt Hopcraft (左から 2 人目) と



写真 4 : 歯学部が管轄する外部の診療施設 (Melbourne Dental Clinic)



写真 5 : 2012 年 2 月に開設された学生基礎臨床実習室



写真 6 : ADC 認証評価委員会委員長 Prof. Mike Morgan と

目 次

はじめに	1
＜医学チーム＞	
はじめに	5
用語解説	8
研究組織	9
調査研究チームにおける活動状況（委員会報告）	10
第1章 「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」アンケート調査結果	15
第2章 薬剤師・看護師養成における診療参加型臨床実習	79
第3章 診療参加型臨床実習の充実に向けての提言 平成 23 年度版	113
第4章 診療参加型臨床実習等における経験と評価の記録 案（例示）	161
第5章 DVD 映像で見る診療参加型臨床実習とは	215
第6章 医学部の海外調査	235
第7章 シンポジウム「参加型臨床実習をめぐって」	301
＜歯学チーム＞	
はじめに	365
研究組織	367
調査研究チームにおける活動状況（委員会報告）	368
第1章 「医学・歯学教育指導者のためのワークショップ」アンケート調査結果	373
第2章 歯学教育モデル・コア・カリキュラム —教育ガイドライン— 平成 22 年度改訂版準拠診療参加型臨床実習コア・カリキュラム事例集（案）	383
第3章 診療参加型臨床実習・臨床研修連携手帳	425
第4章 歯学教育の海外調査	431
第5章 診療参加型臨床実習カリキュラム立案・実施のためのワークショップ	449
参考資料 平成 22 年度歯学教育モデル・コア・カリキュラム水準表	577

はじめに

平成 23 年度先導的大学改革推進委託事業 医学・歯学教育の改善・充実に関する調査研究（拠点校 医学チーム東京大学・歯学チーム東京医科歯科大学）は、平成 22 年度に引き続き、医学・歯学教育の改善と充実のために多くの活動を行ってきた。平成 22 年度は主にモデル・コア・カリキュラムの改訂案の検討を行い、平成 23 年 3 月にモデル・コア・カリキュラム改訂のための連絡調整委員会において改訂内容が決定された。

平成 23 年度は、改訂されたモデル・コア・カリキュラムの円滑な実施に向けて、多くの検討がなされた。中でも、医学教育・歯学教育ともに臨床実習の充実が最も優先度の高い課題であるという認識において一致した。すなわち、従来の見学型臨床実習や模擬診療型臨床実習から診療参加型臨床実習への転換がまだ十分でなく、多くの大学の教育関係者が種々の課題に直面していると考えられた。

今年度の調査研究では、できるだけ具体的に診療参加型臨床実習を支援できるように、提言や評価教材などを作成し、シンポジウムや合宿ワークショップを通じてブラッシュアップを図った。この報告書に掲載された成果物を参考にし、さらに各大学において実情に合った方法で、診療参加型臨床実習の一層の充実を図ることを期待したい。

加えて、地域の医療機関等には各大学の臨床実習への協力を、また国民各位には、医師・歯科医師の養成のために学生が参加して診療が行われるという、教育病院としての大学病院の役割について一層の理解をお願いしたい。さらに、臨床実習の充実に際して、卒前教育と卒後臨床研修が一貫した内容となることが望まれる。

最後に、調査研究に支援していただいたすべての関係者に深甚の感謝を申し上げると同時に、今後とも医学・歯学教育の改善と充実のためにご尽力を賜ることを期待する。

